

自然災害論

生活環境コース・理科教育講座・高橋治郎

1. 授業のねらいと形態

私たちの身の回りでどれ程の自然災害が起きているのかを認識するとともに、①自然災害が発生するメカニズムを理解する、②自分自身や近くの人たちをどのようにして自然災害から守るか、③そのためには今のうちから堂いっただ準備をしておかなければならないのか、こういったことを理解し、身に付けることをねらいとしている。

授業の進め方は、最近発生した気象災害や地震災害、斜面災害等について、授業者が調査研究を行ったものを中心に紹介するとともに、素因と誘因とを受講学生一人ひとりに考えさせ、どうすれば被害を最小限に食い止められるかを議論しながら考えてゆくというものである。こうした事例研究とともに地形や地質、気象、さらには現在の社会状況についても説明し、理解を求めた。毎回、パソコンでスライド投影して映像を見せる努力をした。

2. 受講学生の実態

受講学生の内訳は、総合人間形成課程生活環境コース8名、情報教育コース3名、(以上2回生)、生活健康課程生活環境コース3名(4回生)の合計14名である。なお、途中から生活健康課程生活環境コースの1名が受講を取りやめた。

3. 学生の反応及び評価・改善点の指摘

受講生からは、授業後次のような評価、改善点を指摘された。

「良かった点は、自分たちが一人ひとり考えられるように対話形式で授業が進んだことです。知識も必要だけれど、それ以上にまず自分で考えて、どうしたらいいのかを見付けることが大切だと私は思うからです。改善点は考えるきっかけをもらった私たちが何も自分から次に進んでないことだなと思います。授業の改善点ではなく、私

たちの改善点ですが…。…略…授業の改善点は、対話形式なのは好きですが、だらだらなっていたときもあったと思うので、息抜きできる動画見たり、さわってみたり、チェンジできるモノがあっても良かったかなと思います。」

「この授業は、今、松山市民に確実に起こるであろうと言われている南海地震について取り上げ、どのような行動、準備をしておく必要があるのかを楽しく学習できた気がする。」

「普段の生活から地震などの災害を意識していても、やはりどこか抜けている部分もある。授業中でさえ聞かれても出てこないことをいざ災害が起きたときに実行できるはずがない。災害に対する意識がまだまだ甘かったのではないだろうか実感した。また、今まで聞いたことのないような言葉を耳にする機会もあり、知識の面から考えても良い授業であったと思う。欲を言うのであればもう少し実践的な内容もあればより良い授業になったのではないだろうか。」

「小さい頃から避難訓練などを学校で参加してきましたが、具体的に災害について考え、知識を得ることができたので、とても興味深かったです。近い将来、大きな地震が来るというのに、私たちの周りの人たち、友達は、防災意識がとても低いです。芸予地震が来たときもボーッと突っ立っているだけだった友達もいます。大げさに動くことはかえって危険を招くかもしれませんが、突っ立っていて何もできないのも危険だと思います。いざという時のために、状況に応じて何をすべきか、何を知っておくべきかをきちんと頭の中に入れて、生活していきたいと思います。」

「危機管理について、授業として学ぶのは重要なことだと思う。実際、インフルエンザになったときの対応は、頭に漠然とし

てしかなく、かかったとき、習っていなかったら対応が遅れていたかもしれない。今後の生活にも生かせる大変濃い内容だった。」

「この授業は田の授業とは全く違い、板書はほとんどなく、また、テーマが「自分の身をどう守るか」なので決まった答えはなく、とてもおもしろい授業でした。主に先生のお話を聞き、自分で考えるという形式でしたが、先生のお話は毎回とても勉強になりました。「犯罪が多発している現代でいかにして長生きするか」は自分の身がどれだけ自分で守れるかが重要になってくることを学びました。また、自然災害に対する日頃からの備えの必要性をよく感じる事ができました。現在では、他人を疑って自分の身を守らなくてはなりません。とても悲しい世の中ですが長生きするために必要なことであり、仕方がないことです。犯罪に巻き込まれないよう日頃からの訓練も大事だと思いました。しかし、危機管理のない人はとても多いと思います。私はこの授業で学んだことを友達や家族に話し、広めていきたいと思います。」

「この授業で、災害に対する知識が増えました。特に災害時に用意しておけば良いものは、とても参考になりました。アルバムなどは全然思いつかなくて、たしかにアルバムがなくなってしまうと、とても困ることに気付きました。でも、もっとプリントで授業をしてもらいたかったです。災害についてのビデオはとても衝撃的で、南海地震が起これば私たちはどうになってしまうのか、とても心配になりました。この授業で学んだことを実戦に生かせるようにして生き残りたいと思います。」

「この授業を受けることで、普段考えない災害時の行動や災害に対する準備等を考えることができ、非常に良かったと思う。また、教師となった時に災害が起こったら生徒をどのように避難させるか等も学べた。人生を送るにおいて、とてもためになる知識を得られて良かった。」

「良かった点…他の授業に比べて各自である事象に対しどう対処すべきか考えることができたこと。先生の話から様々な知識を学べたこと。災害の様子などを映像で見られたこと。改善すべき点…もう少し自然

災害についての知識や用語について説明をして欲しかったこと。感想…この授業では、タイムリーな時事問題を取り上げて講義をおこなうことにより、その問題に対して真剣に考えることができ、もし自分ならどう対処すべきか考えることができた。このことは今後の人生における様々な災害が我が身に降りかかった折りに必ず役立つはずであると思う。ありがとうございました。」

「この授業を通して、自然災害は何時起こるか分からないから、とにかく色々な情報を集めて、準備できることはしようと思いました。私は恐ろしがりやでとても心配性なので、受講していて本当に気が沈むときもありましたが、これから生きていくためにもっと強い気持ちを持つと思いました。中でも新型インフルエンザはとても心配でこれから冬に向かっていくので絶対流行は避けられないと思うので、食料を買ったりしておかないと行けないと思いました。非常持ち出し袋の中身を教えてくれたり、実用的なことを学べて良かったです。南海地震も嫌だけど、ちゃんと正しい判断をして避難したいです。先生は幅広いことを知っていて話を聞くのが楽しかったです。私も毎日ニュースを見ようと思いました。私は地学をほとんど学んでいないので分からないこともあったけど、新しい知識が増えて良かったです。」等々

4. 授業の改善点

受講生から様々な本授業にまつわる指摘を受けた。授業者として反省点が多々あり、これで良しとする授業が行えていないもどかしさを感じている。毎年のように日本や世界のどこかで発生している自然災害を知り、身を守るための手立てを各自が考えられるようにしてゆきたい。

映像世代の受講生に対しさらなる映像資料の利用と、地学を学習していないことを念頭に置き、今後、授業改善を行ってゆきたい。よりよい授業ができるように、受講生の実態をこれまで以上に分析するとともに、講義内容や配付資料、映像資料の見直し、板書等について改善し、問題に直面したとき自らの力で解決できる能力を高めるとともに、本授業のねらいが達成できるように努力してゆきたい。